

令和元年度第1回 船橋市行財政改革推進会議

# 行財政改革推進プランの 進捗状況について

令和元年8月6日

企画財政部 行政経営課

# 行財政改革推進プランの概要

## ○ 行財政改革推進プランの策定(平成31年3月策定)



### 6つの柱

- |                          |                                   |
|--------------------------|-----------------------------------|
| <p>1 業務改善による事務執行の効率化</p> | <p>4 普通建設事業の精査・見直しと公共施設マネジメント</p> |
| <p>2 民間活力の積極的活用</p>      | <p>5 受益者負担の見直し</p>                |
| <p>3 事業の精査と見直し</p>       | <p>6 安定的な財政運営のための歳入確保</p>         |



### 取組期間

平成31年度～平成32年度  
(2019年度～2020年度)

【集中取組期間(2か年)】

### 目標

市民サービスの維持・向上

【行政運営の効率化】

【財政の健全化】

予算編成前に見直しを行い、次年度予算に反映する仕組みを構築

# 行革レビューについて

- 行財政改革推進プランにおける「6つの柱」に沿って、予算編成前に事業の見直しを行い、次年度予算編成に反映する仕組みを構築するため、行革レビューを実施。

## 行革レビューの今後の流れについて

7月の行財政改革推進本部において、行革レビューの一次評価を決定しました。  
 今後は、パブリックコメント・ウェブアンケート・行革シンポジウム・市民ワークショップにより市民意見を聴取し、見直し方針を決定します。

### スケジュール

7～8月

行革レビュー  
一次評価決定

行財政改革  
推進会議・本部の開催

8～9月

市民  
意見聴取

パブリックコメント、ウェブアンケート  
行革シンポジウム、市民ワークショップ

10月頃

見直し方針  
決定

予算  
要求

# 行革レビューの対象範囲

- 令和元年度については、行財政改革推進プランにおける6つの柱のうち、市民生活に直接影響を及ぼすと考えられる内容を中心に、行革レビューを実施。

## 行財政改革推進プランにおける6つの柱

①業務改善による事務執行の効率化

②民間活力の積極的活用

③事業の精査と見直し

④普通建設事業の精査・見直しと公共施設マネジメント

⑤受益者負担の見直し

⑥安定的な財政運営のための歳入確保

### 【全体管理】

行財政改革推進本部において、進捗状況を管理するとともに、その取組結果を外部に公表。

(対象:①～⑥)

### 【行革レビュー】

市民生活に直接影響を及ぼすと考えられる内容については、行革レビューを実施。

(対象:②、③、⑤)

# 【行革レビュー】 民間活力の積極的活用の一次評価結果

○ 指定管理者制度導入について、サービスの向上、コスト縮減効果、受け手の有無の観点から検討を進め、一次評価を決定した。今後、市民意見を聴取した上で、最終的な見直し方針を決定する。

## 導入方針決定

サウンディング型調査等を行った結果、制度導入によりサービスの向上及びコスト縮減効果が見込めるため、導入に向けた具体的な検討を進めていく施設。

運動公園・  
法典公園

一宮少年  
自然の家

青少年  
キャンプ場

市営住宅

## 導入検討継続

サウンディング型調査や事務の精査等を行い、制度導入の適否について引き続き検討を行う施設。

行田・高瀬下水処理場上部運動広場、市民文化ホール、市民文化創造館、馬込・習志野霊園、身体障害者福祉作業所太陽、身体障害者福祉センター、簡易マザーズホーム、子育て支援センター、児童ホーム、公民館

## 直営維持

サービス向上、コスト縮減効果が見込めないため、直営を維持する施設。

保健センター、男女共同参画センター、郷土資料館、飛ノ台史跡公園博物館、こども発達相談センター、公立保育園、三山市民センター、青少年会館、視聴覚センター

# 【行革レビュー】 事業の精査と見直しの一次評価結果

○ 63の市単独事業について、現状の課題、他市比較、課題分析等を行い、下記のとおり4つの分類に分け一次評価を決定した。今後、市民意見を聴取した上で、最終的な見直し方針を決定する。

<b>■廃止</b>	廃止に向けた検討を行う事業
<b>■縮小・再編 (補助基準など内容の見直し)</b>	縮小に向けた検討を行う事業、事業内容の一部を見直す事業、新たな制度の構築(再編)を目指す事業
<b>■統合</b>	類似・重複事業への統合を行う事業
<b>■継続検討(あり方検証・現状維持)</b>	引き続き効果検証やあり方検討を行う事業、現状維持とする事業

# 【行革レビュー】 受益者負担の見直しの一次評価結果

○ 受益者負担の見直しについて、負担の公平性や他市水準との比較といった観点から検討を進め、一次評価を決定した。今後、市民意見を聴取した上で、最終的な見直し方針を決定する。

## ■ 公共施設の使用料

原価に資本費を算入及び受益者負担割合を再精査するという考えのもと、「使用料・手数料の算定の基本的な考え方」を改定する。

## ■ 公共施設の駐車場有料化

駐車場有料化に関する考え方を整理し、随時有料化を進める。

## ■ 国民健康保険料

決算補填等目的繰出金の解消に向け、保険料の段階的な見直しを進める。

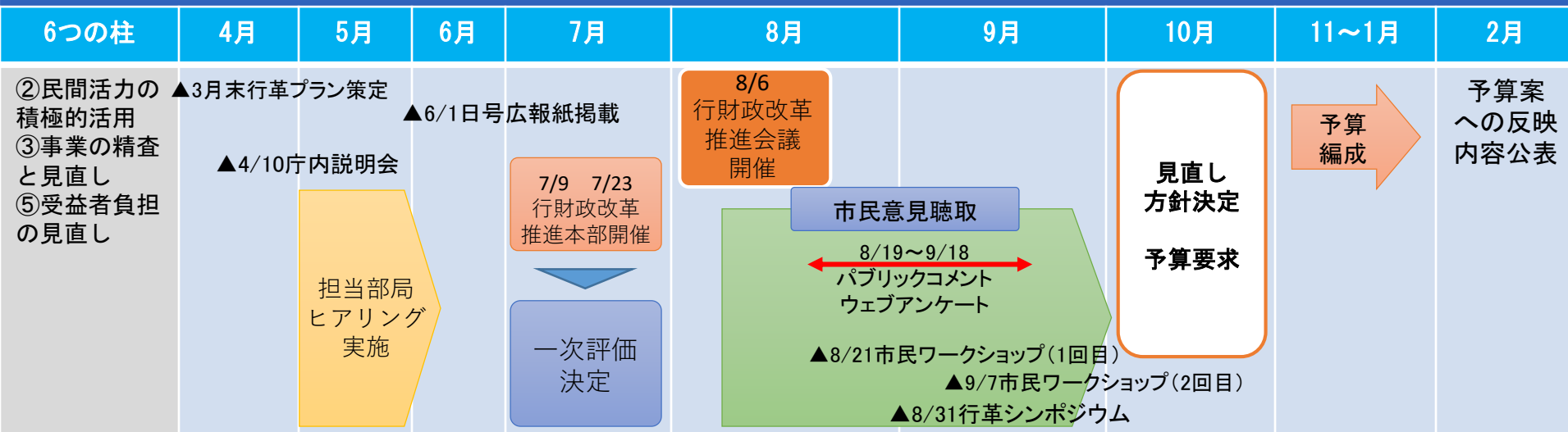
## ■ 下水道使用料

汚水私費の原則に基づき、使用料で負担すべき経費については、全て使用料で回収できるよう段階的な見直しを進める。

## ■ 保育料

幼児教育・保育無償化の動向を注視しつつ、近隣市の保育料水準について調査・研究を行い、見直し範囲や時期を検討する。

# 各取組みの進捗状況



6つの柱	項目	進捗状況
①業務改善による事務執行の効率化	業務改善に係る取組方針の策定	・業務改善の具体的な取り組み内容、方法等を示した方針を策定中。
	業務の棚卸し・見える化	・業務分析手法等の検証を7課（トライアル課）で実施。 ・全庁で業務の見える化（業務調査）を実施。
	ICT活用	・ICT化推進に係る当面の取組方針を策定。
	総務事務の見直し	・現行業務分析（フロー作成等）を実施し、委託範囲及び所管課の集約化に向けて検討中。 ・旅費管理システムの構築業務に関するプロポーザルを実施。
④普通建設事業の精査・見直し等	普通建設事業の優先順位付け	・保全計画、大規模事業について、将来財政推計の見直しに合わせ、優先順位付けの検討を行う。
	普通建設事業の適正な進捗管理の徹底とコスト縮減	・公共建築事業設計調整会の再編に向けて、調整会の役割や他の会議体等との関係を整理中。
	公共施設マネジメント	・個別施設計画の作成に向け、施設の現状と課題を抽出し、今後の施設の方針案を検討中。
⑥歳入確保	市税徴収率の向上	・マンパワーの創出や現年度徴収率向上を目的とした口座振替の促進など、各種取り組みの具体的な実施方法を精査中。